
命

五十嵐 喜美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
命

【Nコード】
N6288P

【作者名】
五十嵐 喜美

【あらすじ】
おなかの中にいる生命。
帝王切開により開かれる未来。
その希望を描いたストーリー

「箱に魔法をかけてごらん？」

小さな妖精は、魔法の杖をふった。

小さな箱はみるみるうち大きくなっていく。

妖精の何十倍にも。

「触ってごらん？」

美しい女性の声がささやく。

青空のすつごくすつごく遠いどこからかささやく。

妖精の美しい手がその箱に触れた。

その瞬間光が散った。

きれいな放物線を描いて光は落ちていく。

どこまでも、どこまでも。

あれ？ 光はポツと消えてしまう。

そこに広がるのは闇。

真っ黒くて、何もかもを吸い込んでしまう闇……

「あああああああああああああああ……！！！！！！あああ
あああああああ！！！！」

妖精は、叫び狂う。

闇は妖精を吸い込もうとしている。

闇に入ったらでてこれない。

闇は妖精を飲み込み、もう妖精は見えなくなりそう。

すると、大空から大きな手がでてきた。

美しい手。

優しい手。

妖精を救い出す。

光が散った。

パ
ア
ー
！
！
！
！

箱が開き、光とともに妖精を吸い込む。

「おぎゃあ！おぎゃあ！」

産婦人科に赤ちゃんの泣き声は響く。

帝王切開により救われた命。

命、、、。。

(後書き)

あなたは、それでもおろしますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6288p/>

命

2011年1月3日18時47分発行